

## 《どうでもいい話、その 607》

どうでもよくない皆様へ

こんにちは！

年齢とともにもの忘れが多くなりました。もの忘れというのは、むろん年齢も関係ありますが、季節にも関係があります。もの忘れの季節といえばやはり春です。花粉や黄砂が飛んできてポーッと暖かくなると、猫も鱧節がどこにあるのかを忘れるし、犬も歩いて棒に当たったりします。我々の年代が酒を飲みながら話しをするとき、特に人の名前が出てこなくてややこしくなります。「ホラ、この前テレビに出ていた吉本の女のお笑い芸人、ホラホラアメリカに住んでいて太っていたけど最近痩せてきたあの人、ウンなんつーたっけなー」「あー、あの番組に出ていたあの人」「ン！わかった！それ、あのテレビに出ていたあの人でしょ」「ウン、そう！その人」と、なにがなんだか分からなくなります。こういう場合の思い出し方法として「アイウエオ方式」を採用するとよいでしょう。非常にテマヒマがかかりますが名前の頭文字をアイウエオ順に一字一字あてはめていきます。「まずアのつく人、ウン違うな、じゃーイのつく人、イでもない、じゃウは？」というふうに1人ずつあたってつぶしていきます。ア行がだめならカ行、サ行とつぶしていきます。先ほどのお笑いタレントの話の際も、ヤ行、ラ行と進めていい加減イヤになり、あとワ行の一字と絶望的になったところで「渡辺直美だー！」と絶叫、皆へトへトになりました。アレ、前にも同じような話をしたような・・・。忘れしましたが。

岩波より